

神奈川県保健医療計画 進捗状況評価調査

＜項目＞

第6章 患者の視点に立った質の高い医療体制の整備

第8節 開かれた医療の取組み

とりまとめ担当課：ヘルスケア・ニューフロンティア推進局

1 課題に対する平成26年度の実績

(1) 開かれた医療の取組み	
	→AICS（アミノインデックス・がんリスクスクリーニング）を普及するため、県職員の指定年齢健診のオプションとして AICS の受診を導入した。また、平成25年度は、県職員（地方職員共済組合員）向け人間ドック、及び県内の教職員（公立学校共済組合員）向け人間ドックのオプションとして、AICS の受診の実施を始めた。 →世界最先端の医療を享受できる「開かれた医療」を実現するため、京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区や国家戦略特区を活用して、保険外併用療養や病床規制などの医療分野に関する規制緩和の提案を行った。（平成26年度14件提案、2件認定） →国際的医療人材養成機関の設置に向け、連携先との調整を行ったほか、国内外の有識者を招聘してシンポジウム（2回）を開催した。

2 参考指標の推移

取組 区分	指標 区分	指標名	単位	神奈川県			出典等
				H24年度	H25年度	H26年度	

3 課題ごとの進捗状況の評価

(1) 開かれた医療の取組み

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	・新規に県職員の指定年齢健診のオプションとして AICS の受診を導入した。県職員（地方職員共済組合員）向け人間ドック、及び県内の教職員（公立学校共済組合員）向け人間ドックに AICS の受診を実施した。 ・開かれた医療の取組みを推進するため、神奈川発の規制緩和の提案を積極的に行った。 ・国際的医療人材養成機関の設置について、連携先との調整調査の実施及びシンポジウムの開催を通じて、検討を進めた。

評価理由	・ 関連組織と調整し、AICS の導入を実現させたため。 ・ 保険外併用療養や病床規制に関する規制緩和が認定されるなど、着実に成果を出すことができた。 ・ 国際的医療人材養成機関の設置について、連携先との調整を進めるとともに、シンポジウムの開催により人材育成について検討を進めることができた。 以上のことから、課題解決に向けて比較的順調に進捗している。
今後の取組みの方向性	・ 更なる AICS 受診者数の増加に向けて、精密健診機関等の新規開拓を進める。 ・ 引き続き、各特区事業の推進に必要な規制の緩和について、随時提案を行っていく。 ・ 国際的医療人材養成機関について、国家戦略特区の動向をふまえ、国内外の関係機関との調整等設置に向けた取組みを進めていく。

4 総合評価

評価	評価理由
B	・ AICS の普及促進、各特区事業に必要な規制の緩和についての提案や、国際的医療人材養成機関の検討など、開かれた医療に係る取組みを着実に進めており、課題解決に向けて比較的順調に進捗している。

5 特記事項

--